

群馬県議会 リベラル群馬

# 後藤かつみ

## 県議会だより

## vol.6

[発行]  
リベラル群馬  
後藤かつみ事務所

住所 高崎市八幡町800-24  
TEL&FAX 027-343-1393  
e-mail ccrgoto@yahoo.co.jp  
HomePage http://www.g-kenshoku.jp/goto/

9月定例県議会

### 県政改革、雇用・過疎地域対策で

# 知事と白熱討論

後藤かつみは、9月定例県議会においてリベラル群馬を代表して一般質問に立ち、知事および執行部と白熱した討論を行いました。

### 討論① 「口利き」問題にメス

議員が地域住民の声を県につなげる「パイプ役」としてではなく、特定の企業や個人の利益をゴリ押しするよう

な不当行為を俗に「口利き」と呼びます。

後藤かつみは、本来県民に対して公平・公正でなくてはならない県行政が、議員の「口利き」行為によって歪められるのは許されないと、当選以来一貫して訴えてきました。本議会で後藤かつみ



図を用いて力強く政策を訴える後藤かつみ

群馬県でもフリーター（パート・アルバイトで働く若者）が3万人、ニート（教育・雇用・職業訓練の何れもしていない若者）が7千人もいると言われていています。若者が将来に希望を持って働ける環境を作らない限り、これからの年金や医療といった社会保障制度を支えられなくなります。更には、結婚して子どもをつくることもままならず、少子化は一層加速しかねません。後藤かつみは、若者

### 討論② 若者の雇用支援

は、知事と不当な「口利き」を防止するルールづくりについて徹底討論。そして、初めて知事からルール案が示されたことにより、いよいよ決着が見えてきました。

群馬県でもフリーター（パート・アルバイトで働く若者）が3万人、ニート（教育・雇用・職業訓練の何れもしていない若者）が7千人もいると言われて

の雇用問題は単に若者層の問題ではなく、群馬県の将来の社会保障・人口構造に関わる問題であると訴えるとともに、全国から高い評価を得ている本県の雇用対策を維持・強化

### 討論③ 過疎地域対策

旧倉渕村地域は、毎年平均80人も人口が減少している深刻な状況にあります。後藤かつ

することを求めました。知事・執行部からも、企業誘致と地場企業の活性化による正規雇用の創出と、雇用対策の予算を確保していく決意が述べられました。

現在、高崎市は、ふるさと住宅建設や「小栗の里」整備事業など活性化策を講じる方針ですし、地域では「く



知事と白熱した討論を繰り広げる後藤かつみ

らぶち草の会（新規就農者を受け入れて有機農業を営む団体）の活躍など、草の根活動も活発です。後藤かつみは、市町村・地域の主体的な取り組みに対して、県はどのような支援・役割を果たすのかを追及。知事からも、市町村と連携して自発的な取り組みを積極的に育成支援するために、部局横断による総合的な地域振興に取り組むとの決意が述べられました。